

## 【 残暑お見舞い申し上げます 】



今年の夏は、猛暑日が続き、台風の被害も多かったです。夏の風物詩、蝉の声が少なく、ニュースがヒステリックに最高気温を伝えていました。お変わりなくお過ごしのことと存じます。

ブドウや梨が実り、果物の秋を感じながら、9月は敬老会の月です。9月9日に向けて、職員が、利用者の皆さん、ご家族の皆さんにも楽しんでいただこうと準備に入りますので、ご期待してください。

当施設は、日頃から、レクレーションを大切にしております。それは、ますます個別化、孤立化が進む社会にあって、「袖振り合うも多生の縁」という言葉を蘇らせたいと願い、「お互いさま」の気持で、日々の生活を支え合いながら過ごせたらと願っているからです。

高齢化社会では、労働力不足を機械化や外国人労働力で補おうとしていますが、それだけでは間に合わず、もっと違った形になるように思います。まずは、バラバラになってしまった人間関係を、身近なところから、声の掛け合い、支え合いなどで積み重ねて見ます。そして、日々の生活の中で、小さな単位から始めた「棲み直し」の工夫で、モノづくりから介護や保育までもう一度考え直すことになろうかな、と妄想します。

当法人の保育園の子どもたちは、少子化による兄弟・姉妹間の人間関係不足を、保育園の中で多少、補えることもあります。核家族化による多世代の交流という体験や学びは不十分です。そこで日頃から、子どもたちは、ご利用者の「おじいちゃん、おばあちゃん」とふれあいを通して、人として人生を学ぶのです。これは貴重な体験です。

また、隣地の「ティダハウス」の1Fは保育園の多目的ホールですが、2Fのシェアハウスの学生たちは、自分たちの共同生活の経験に加え、利用者の皆さんや保育園児と関わることで、利用者の皆さんに生活の膨らみにお役に立て、彼らも学べたら、素晴らしいことと思います。新しい試みにご理解をお願いします

今月もご利用者、ご家族の皆さんのご協力を心よりお願い申し上げます。

佐々木 榮一



05766899